

朝晩も涼しくなり

涼風の候、秋の訪れに思います。



トランプ関税

2025年、アメリカのトランプ大統領が掲げる高関税政策が世界経済に波紋を広げています。日本にとって、自動車をはじめとした輸出産業への影響が大きく、企業活動だけでなく消費者の生活コストにも徐々に影響が及ぶ可能性があります。高関税政策の通称で行われている政策ですが、自動車産業などは対米輸出の約3割を占めており、大きな打撃を受けると見られています。この関税は自動車本体だけではなく、部品・素材・電子機器など幅広い関連産業にも深刻な影響を及ぼす懸念があります。今回の政策では半導体も課税対象となる為、スマートフォンやパソコンと言った電子機器も同じく影響があり、消費者にも及ぶことになるでしょう。

今回の政策は我々中小企業にとっては価格競争や収益性への影響が避けられない状況です。そんな中大手企業に比べて資源や交渉力が限られる中小企業でも今のうちに取れる対応策がいくつかあります。「仕向け先の多角化」として、特定の取引先に依存せずに分散させる事が一つ。仕入れ先の方針によっては、価格面などで供給が不安定になるリスクがあると言えます。柔軟な体制を整える事が不可欠だと言えます。また、自社製品の価格転嫁も検討しておく事が大切です。原材料や労務費などのコストが増加した分を、自社の商品やサービスの価格に上乗せして反映させる事を指します。けして簡単な事ではありませんが、物価に負けない賃上げを実現する事が、デフレ脱却や経済の好循環に寄与します。

トランプ氏の相互関税の動向は常に変化しています。日頃から最新の情報を収集し、経営戦略を機敏に調整していく事が大切と言えるでしょう。

ご意見・お客様の声などありましたら御返信下さい

ニュースレターの配信がご不要の方は配信を止めさせて頂きますのでお手数ですが、上記欄にFAX番号を記入の上ご返信して下さい。宛名に覚えの無い方も配信を停止しますのでFAX番号を記入してご返信下さい。お名前だけですと停止手続きができない場合がございますので必ずFAX番号の記入をお願い致します。

製品紹介 全自動ベルトカッター

約100mm幅までの素材を自動定寸裁断する機械になります。細かな設置が可能で様々な素材に対応する事が出来ます。最大の特徴としてはコールドカットとヒートカットを切り替える事ができ、ロープ系などの素材を切った際に、裁断面のほつれを防止する事が可能となります。オプションで自動解反器も用意しており、より安定した寸法精度での裁断を実現しました。



対応可能素材

- ・マジックテープ・ロープ・ゴム・テープ・ベルト
- ・フィルム・etc...



動画紹介のQRコードです。
是非一度ご覧ください。

サ プ リ ナ 株 式 会 社
ニュースレター担当者:長田 昂祐
TEL:0725-22-4801
FAX:0725-23-3486
<http://www.suprena.co.jp>